



# 旭川成長戦略ビジョン

# 想う、創る。生まれ変わる!

一人ひとりの創造力が、旭川の未来を変えていく



旭川商工会議所  
Asahikawa Chamber of Commerce & Industry



目次

## CONTENTS

**旭川成長戦略ビジョンの趣旨** .....P. 1

**旭川の現状と課題**

- ① 人口減少と少子高齢化の進展：流出する若者 .....P. 2
- ② 旭川の産業基盤と雇用情勢：第3次産業が主体の経済構造 .....P. 3
- ③ 人口減少・少子高齢化と都市機能：変化が求められる街づくり .....P. 4

**旭川が解決すべき課題** .....P. 5

**旭川が目指すべき姿** .....P. 6

**旭川成長戦略ビジョンの概要** .....P. 7

**成長戦略ビジョン：目指すべき姿を実現するために**

- ① 「創造」と「循環」による産業振興 .....P. 8
- ② 人材の「創造」 .....P. 12
- ③ 街づくりにおける「創造」 .....P. 14

**ビジョンの実現に向けて** .....P. 16



# 旭川成長戦略ビジョンの趣旨

将来にわたって豊かな街を維持するためには  
現状を見直し、行動を起こさなければならない



街の衰退につながる  
負のスパイラル

**中長期的に発展する**  
ために何をすべきか

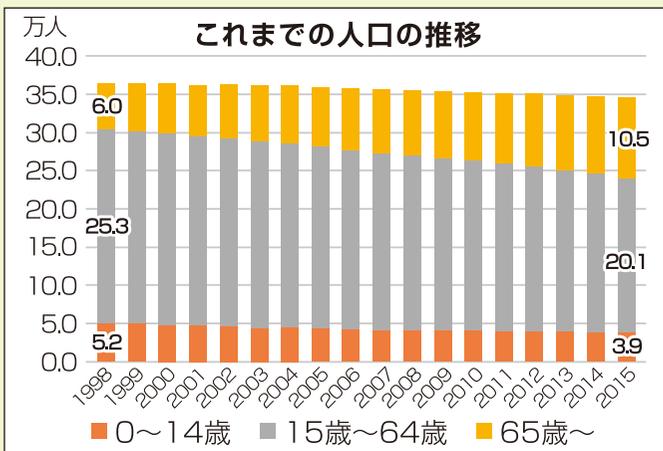
**目指すべき地域活性化の  
方向性を示す**

**想う、創る。生まれ変わる!** 新しい旭川の**創造**



# 旭川の現状と課題

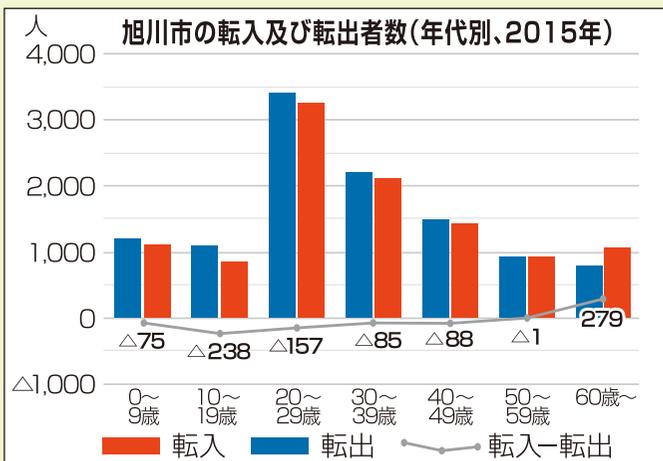
## ① 人口減少と少子高齢化の進展：流出する若者



出所:旭川市「旭川の人口」より作成

他の地方都市と同様、人口減少と少子高齢化に直面

人口構成は、  
 14歳以下 11%  
 15~64歳 58%  
 65歳以上 30%  
 (2015年10月時点)

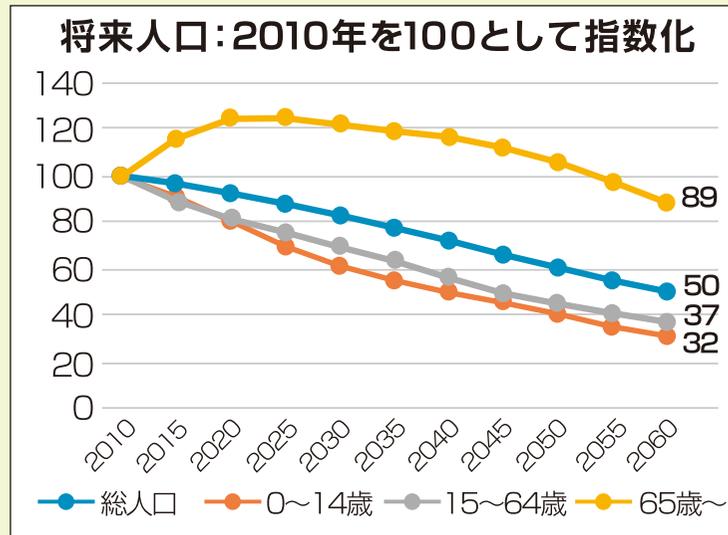


出所:総務省統計局「2015年住民基本台帳人口移動報告」より作成

特に、  
**10代・20代で  
 転出超過が  
 大きい**

## 2060年の人口は、 2010年の 半分になる可能性

下図から算出すると2060年の人口構成は  
 14歳以下 7%  
 15~64歳 45%  
 65歳以上 47%



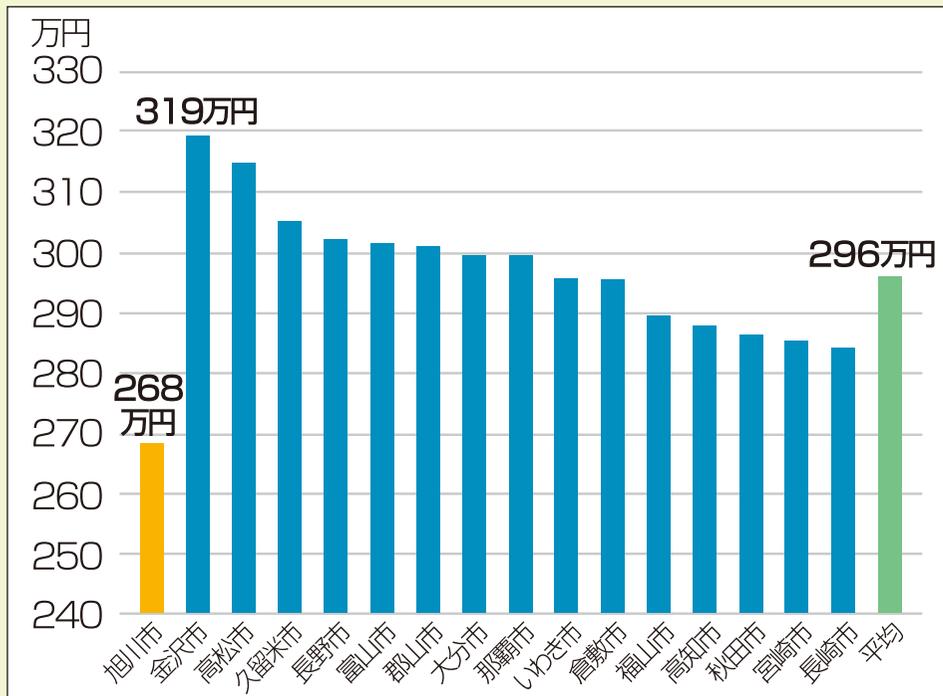
出所:まち・ひと・しごと創生本部「地域経済分析システム (RESAS)」より作成



# 旭川の現状と課題

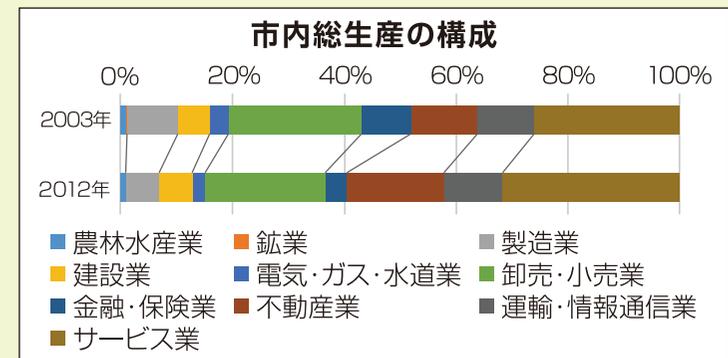
## ② 旭川の産業基盤と雇用情勢：第3次産業が主体の経済構造

同規模の都市(三大都市圏を除く)の  
一人当たり所得を比較すると、  
**旭川は下位に位置する**

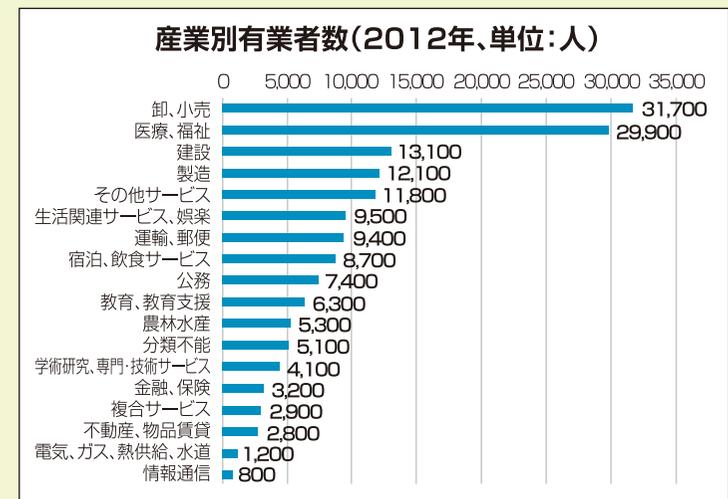


出所：総務省『統計で見る市町村のすがた2016』に掲載された課税対象所得額(1)及び納税義務者数(2)から、(1)÷(2)として算出

旭川の経済は、  
特に**卸・小売、医療・福祉**が主体



出所：旭川市『平成24年度市民経済計算』より作成



出所：総務省統計局『平成24年就業構造基本調査』より作成



# 旭川の現状と課題

## ③ 人口減少・少子高齢化と都市機能：変化が求められる街づくり

課題!

中核都市としての都市機能と歴史がある

自然災害が少ない

しかし...

# 十分に活用していない

例えば、降雪量が多いにもかかわらず就航率99.1%を誇る旭川空港は、新千歳空港の代替空港として機能し得るが、実現していない



課題!

人口減少

少子高齢化

# 都市機能に変化が必要

少子高齢化の進行と歩を合わせるように中心市街地は活気を失っている。さらに人口減が続くと、旭川を拠点に伸びる道北地域の鉄道網も見直しの対象に!





# 旭川が解決すべき課題

人口減少  
少子高齢化への  
対応が急務

若い世代を旭川で増やすためには

- 高所得の職種と多様な働き方の創出
- 付加価値の高い財やサービスを市外に移出し得た対価が市内で循環する産業構造の構築
- 現在の都市機能や魅力を強化しさらなる発展につなげるためのインフラ整備

が求められる

上記の課題を解決しなければ

仕事がない

人が減る

街の魅力・活力が損なわれる

仕事がない

人が減る

「負のスパイラル」が続き、街は縮小する



# 旭川が目指すべき姿

このままでは  
人口が減少し続ける

➡ 人々、特に働く世代が  
「住みたい」と思う魅力ある街に!

➡ 所得の高い多様な仕事と  
生活しやすい環境が必要

**他都市と同じことをしていても街の魅力を高めることは出来ない**

## 旭川の魅力とは?

- 都市機能と豊かな自然が共存
- 「中核市」として文化・教育・産業など多くの分野において人材と資源が豊富

**現状ではこれらの資源を最大限に活用しているとはいえない**

**豊かな資源を活かし、旭川発の新たな価値を創り出さなければ!**

この「成長戦略ビジョン」では

**「創造」をキーワードにした活性化策を提案**

創造=新しい価値を創り出すこと

3つの重点分野における「創造」が結びつき、好循環が持続する街を目指す

➡ 中核市旭川が発展することは、  
道北地域全体の発展につながる!



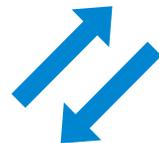
# 旭川成長戦略ビジョンの概要

**重点分野①**  
**「創造」と「循環」による産業振興**  
 産業における「創造」、すなわち高付加価値化を実現し、さらに域外から得た価値が地域で「循環」する経済構造をつくる

戦略ビジョン

- ① 創造する企業の育成
- ② 観光における創造
- ③ 農業における創造
- ④ 産業間連携における高付加価値化と価値の循環

財とサービスの高付加価値化→所得の向上、職の創出



各分野が互いに好影響を与え合い、旭川の発展へとつながる

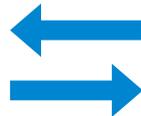


**重点分野②**  
**人材の「創造」**  
 地域を担う人材を増やす

戦略ビジョン

- ⑤ 若年層の教育・雇用環境の整備
- ⑥ UIIターンの推進

これまでの旭川にはない技能や知識、発想を持つ多様な人材の育成→「創造」の基盤に



**重点分野③**  
**街づくりにおける「創造」**  
 都市機能を強化し、旭川の魅力を向上させる

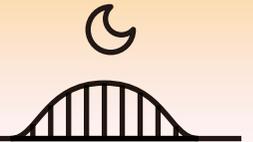
戦略ビジョン

- ⑦ 生活を守り、住みやすさを維持・向上させるためのインフラ整備
- ⑧ 中核市としての都市機能を強化する「攻め」のインフラ整備

経済活動や住みやすさを支えるインフラ整備→産業の発展と人々の定住促進



# 成長戦略ビジョン:目指すべき姿を実現するために



## 重点分野①「創造」と「循環」による産業振興



### 創造する企業の育成

「ものづくり」は製造業だけではない!



### 政策の方向性

<p><b>政策① 地域経済における創造企業の重要性⇒市民への浸透</b></p> <p>旭川には、優れた商品・サービスを生み出す創造的な企業が存在 <b>⇒</b> 市民が創造的な企業の重要性を認識していない <b>⇒</b> 「創造」に対する市民の認知度を高めることが重要</p>	<p>〈テーマ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●魅力ある商品の開発</li> <li>●情報発信ツールの活用</li> <li>●街の特色としての創造の発信</li> </ul>
<p><b>政策② 創造企業の育成とそれを支える企業の育成</b></p> <p>「創造のまち」として将来にわたり持続的に発展 <b>⇒</b> 新たな企業が続き誕生する状況を作り出すことが必要 <b>⇒</b> 起業を促し、サポートする環境の整備が必要</p>	<p>〈テーマ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●起業の促進</li> <li>●受注機会の拡大</li> <li>●従業員の確保の支援</li> </ul>
<p><b>政策③ 旭川の製品・サービスの市内外へ向けた発信</b></p> <p>作り出した製品・サービスを消費してもらわなければならない <b>⇒</b> 旭川の製品・サービスの認知度を高めることが必要 <b>⇒</b> 地元と市外 両方の市場で製品・サービスの認知度を高め需要を生み出す取組みが必要</p>	<p>〈テーマ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●旭川市内からの製品の普及</li> <li>●製品のブランド化</li> <li>●旭川市と民間が一体となった地元製品の利用・情報発信</li> </ul>



# 成長戦略ビジョン:目指すべき姿を実現するために



## 観光における創造

旭川の観光業は主要産業のひとつ



まだポテンシャルを活かしきっていない!



他分野との連携や既存資源の見直しにより、新たな観光価値を創造する

### 政策の方向性

#### 政策① 地元の魅力の発信

旭川観光において旭山動物園の  
人気・知名度は高い

旭川自体の魅力は  
十分に知られていない

旭川自体の魅力を発信して街全体の  
価値を高め観光産業の発展につなげる

##### <テーマ>

- 新たな広告媒体の作成
- 注目を集める場所での情報発信
- DMOを中心とした情報発信の強化・推進

#### 政策② 観光資源の発掘

旭山動物園を訪れる  
観光客は多い

動物園以外は  
ラーメン村を訪れる程度

観光資源の見直しと発掘が必要  
道北圏全域の観光ルートの開発

##### <テーマ>

- 既存観光資源の見直し
- 広域観光ルートの形成
- 名所・シンボルづくり
- 芸術・文化の再認識

#### 政策③ 自然の有効利用

旭川は自然と都市の  
快適性が隣接

都市の内部や近隣の  
自然を活かす

近年増加する体験型観光に対応することで  
より多くの観光客を引き付ける

##### <テーマ>

- 河川敷の有効利用
- 体験型観光コースの整備
- 農業と観光の連携



# 成長戦略ビジョン:目指すべき姿を実現するために



## 農業における創造

### 旭川は北海道・日本の農業において重要な位置を占める

水稲の作付面積・収穫量で全道2位

#### しかし問題点が!

- 人材の不足、旧来の流通システムなどの構造的な問題
- 不透明な TPP の動向や今後の国際競争への対応

#### 今後農業が持続的に発展していくためには

- 既存の構造を超えた、より付加価値の高い農業を目指す創造的な取組みが必要

他産業との連携や6次産業化の推進等によって、所得向上・経営安定化を目指す

#### 政策の方向性

##### 政策① 地域ブランドの確立

付加価値の高い農作物生産への取組み

▶ ブランド化できなければ高い価格設定は出来ない

▶ 旭川及び近郊産の農作物を種類(品目)・品質において差別化し、消費者に伝える取組みが必要

##### <テーマ>

- 6次産業化の強化
- 地場産品の再認識
- 高品質農作物の開発

##### 政策② 国際競争力の強化に向けた農業対策

TPPの動向は不透明

▶ 今後の枠組みの変化と国際競争に備える必要がある

▶ 国内のみならず海外農作物との競争に勝ち抜くための生産体制の構築が必要

##### <テーマ>

- 農業生産体制の強化
- 通年生産の推進
- 法人化の推進

##### 政策③ 多様な農業人材の育成・確保

担い手の不足は旭川農業の未来にとって必ず解決すべき喫緊の課題

▶ 若者の農業就労を促す仕組みの構築が必要

##### <テーマ>

- 新規参入希望者の支援
- 担い手の育成



# 成長戦略ビジョン:目指すべき姿を実現するために



## 産業間連携による 高付加価値化と価値の循環

### 高付加価値を生む地元企業の成長には 関連産業の拡大など波及効果が期待できる



**しかし!** ●中間投入財やビジネス支援の需要が市外に流出してしまうと波及効果が限定的



**そこで!** ●市内の中間投入財やサービスを可能な限り利用し、他地域から得た対価を出来るだけ市内にとどめる仕組みが必要  
●他産業との連携により、新たな価値が生まれる可能性も

### 政策の方向性

#### 政策① もの・サービスの「地産地消」の促進

価値の地域内循環を高めることが必要 → 地域の生産物がより多く地域内で利用されなければならない → **他地域の生産物と差別化したり、地域内で原材料などをマッチングしたりする仕組みが必要**

#### <テーマ>

- 「メイドイン旭川」のブランド化
- 市内での原材料・資本の調達を促す制度の構築

#### 政策② 異業種による連携の促進

旭川には複数の教育機関や有力な金融機関がある → 他業種、大学、金融機関、市役所が交流し、旭川が有する人材や知的な資源を最大限に活用することで価値創造が期待できる → **多様な交流を促す仕組みが必要**

#### <テーマ>

- 産官学金の連携強化
- 異業種間交流の機会の拡大



# 成長戦略ビジョン:目指すべき姿を実現するために



## 重点分野② 人材の「創造」



# 若年層の教育・雇用環境の整備

旭川には医大・看護・高専以外に理系の学部がなく文系の学部も経済と教育に限られる



高校生市外流出の大きな要因  
創造のためには多様な人材が必要



多様な高等教育体制と卒業後の定着を促す仕組みの整備が必要

### 政策の方向性

#### 政策① 地域が求める人材の育成

高付加価値化を目指すには、革新や創造の担い手となる人材の育成が欠かせない → ただし、育った人材が旭川に残らなければ意味がない → **人材を育て、さらにその人材を地域に残すための取り組みが必要**

- 〈テーマ〉
- 地域産業にとって必要な教育機関・学科の設置
  - 専門性が高い人材の育成
  - 優秀な人材の流出防止

#### 政策② 求人におけるミスマッチの解消

人材が地域で活躍するためには、人材と企業をマッチングする仕組みが必要 → 現状では求職者(特に大学生)に地元企業の情報が十分に伝わっていない → **さらなる改善が求められる**

- 〈テーマ〉
- 就職活動の実情に合わせた求人募集
  - 企業と学生が接する機会の拡大
  - インターンシップの拡充

#### 政策③ 雇用環境の改善

長期的に人材が地域で活躍するためには労働環境や多様な働き方の整備が必要 → 女性が結婚・出産でキャリアを離れることは企業・地域経済にとっても損失 → **多様で柔軟な働き方を可能にすることが急務**

- 〈テーマ〉
- 企業誘致による多様な雇用の創出
  - 柔軟な労働環境の整備



# UIJターンの推進

## 社会人UIJターン促進のメリット

労働人口の増加 + 経験・技術を地域に伝えてくれる



UIJターンの促進には、希望者の「不安」解消が不可欠



希望者の不安解消への取組みと旭川をよく知る地元出身者に  
戻って来てもらうための仕組みが必要

### 政策の方向性

#### 政策① 若者にとって魅力のある街づくり

旭川には豊かな生活環境があり  
子育てに適した街

➡ 子育て環境の整備や  
居住支援などをさらに行う

➡ 他地域と差別化し、UIJターンの  
促進が期待できる

- 〈テーマ〉
- 安心して子育てができる環境の整備
  - 空き住宅の活用など子育て世代の居住支援

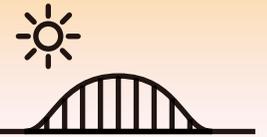
#### 政策② 地元企業への理解の向上

移住希望者にとって  
「仕事」が不安

➡ 地元企業の待遇や魅力を  
十分に伝える必要がある

➡ 移住希望者に情報を伝える  
ための仕組みが求められる

- 〈テーマ〉
- 企業PRの促進
  - 職場体験など地元企業を深く理解するための機会の拡大
  - 地元出身者の呼び戻し



## 重点分野 ③ 街づくりにおける「創造」



### 生活を守り、住みやすさを維持・向上させるためのインフラ整備

人口減少と少子高齢化はインフラのあり方に変化を迫っている



住みやすさを維持・向上させるために

## インフラの見直しと整備が必要



インフラ整備による「街の魅力」「住みやすさ」の向上は

**UIJターン希望者をはじめ人々を引き寄せる力に!**

### 政策の方向性

#### 政策① 中心市街地の活性化

中心市街地は街の玄関口  
街のイメージを左右する!

➡ 商業施設や公的機関が集積し  
多くのインフラが既に整備されている

➡ **これらを活用する余地がある**

#### <テーマ>

- 買物公園の出店促進
- 利便性が高い複合施設の整備
- 中心部への居住者の誘導
- 旭川駅前商業地区の再開発推進

#### 政策② 生活のための交通機能の強化

高齢化と人口減少の  
進展は避けられない

➡ 既存インフラのままでは  
生活や住みやすさを維持できない

➡ **高齢化や人口減少に対応した  
交通システムの整備が必要**

#### <テーマ>

- 中心部へのアクセス向上
- バス路線の強化
- 道北圏域の広域交通ネットワーク形成
- タクシー機動力の活用



## 中核市としての都市機能を強化する「攻め」のインフラ整備

旭川の強みの一つは、中核市としての歴史とインフラ

交通・物流の要衝としての機能を強化し、旭川の強みをさらに活かす

- 旭川の観光都市としての価値向上
- 広く道北圏の交流人口増加
- 人々の交流による創造と企業の成長の促進

### 政策の方向性

#### 政策① 交流人口増加のためのインフラ整備

旭川空港・旭川駅など優れたインフラがある

既存インフラにはさらなる活用の余地がある

新幹線の整備など、今後の発展に向けた事業も検討すべき

##### <テーマ>

- 旭川空港の機能強化
- 旭川駅周辺の有効活用
- 高規格道路の機能強化
- 北海道新幹線など鉄路の整備

#### 政策② 物流機能の強化のためのインフラ整備

旭川は北海道交通の要衝

旭川の物流の拡充は旭川の価値を高める

さらに北海道全体の経済活動の発展にも貢献

##### <テーマ>

- 輸送コスト削減
- 高速道路の代替ルートの整備
- 鉄道貨物輸送の高度化
- 冷凍・冷蔵設備の導入など食品・農作物輸送の改善



# ビジョンの実現に向けて

新たに人を街に呼び、人口を増やすためには  
**他の市町村と同じような対策をとっても  
大きな効果は期待できない**

この『成長ビジョン』では  
**「創造」をキーワードに、新たな価値を生み出すことで  
街の未来を切り拓くことを提案**

すでに旭川にある強みを生かしつつ、創造による街づくりを実現するためには  
**産業育成支援＋人材育成＋インフラ整備を一体的に取り組む必要**

**想う、**

何よりも「創造」にとって重要なのは  
**既存の状況に満足せず、新たな一歩や改善策を考える一人ひとりの意識**

**創る。**

一人ひとりが様々な場面において次なる一歩を考えることが

生まれ  
変わる!

**旭川の未来を変えていく!**

## 旭川成長戦略ビジョンワーキンググループ委員名簿

### 担当副会頭

荒井 保明 荒井建設(株) 取締役社長

### 座長

木谷 耕平 旭川大学経済学部 准教授

### 委員

湯浅 義弘 (株)湯浅 代表取締役

溝口 文夫 (株)ブリックス 代表取締役

橘井 敏弘 正和電工(株) 代表取締役社長

片岡 宏文 (株)片岡興業 代表取締役

江夏 秀則 (株)山本ビル 代表取締役副社長

石川 哲央 (株)北日本広告社旭川本社 本部長 平成28年8月まで

佐々木 聡 (株)北日本広告社旭川本社 常務取締役兼旭川営業本部本部長 平成28年9月から

内田 則彦 清香園山田植木(株) 代表取締役

花本 金行 花本建設(株) 代表取締役

柏葉 健一 旭川中央ハイヤー(株) 代表取締役

河西 利記 旭川電気軌道(株) 代表取締役社長

### アドバイザー

佐藤 修 旭川開発建設部 地域振興対策室長 平成29年3月まで

東海林 隆 旭川開発建設部 地域振興対策室長 平成29年4月から

工藤 弘行 上川総合振興局産業振興部 商工労働観光課長

新野 康二 旭川市総合政策部 次長 平成28年3月まで

佐藤 弘康 旭川市総合政策部 次長 平成28年4月から

栗澤 傑 (株)北海道夢民村 専務執行役員

上田 朋浩 (株)北日本広告社旭川本社 企画制作部次長

向峰 一郎 (株)北日本広告社旭川本社 企画制作部副課長

鈴木 健太 旭川大学地域研究所 職員

## 旭川成長戦略ビジョン検討経過

### 平成28年

2月8日 中期的地域活性化総合戦略(仮称)WG第1回会議開催

3月2日 中期的地域活性化総合戦略(仮称)WG第2回会議開催

4月11日 中期的地域活性化総合戦略(仮称)WG第3回会議開催

6月10日 中期的地域活性化総合戦略(仮称)WG第4回会議開催

8月26日 中期的地域活性化総合戦略(仮称)WG第5回会議開催

10月17日 中期的地域活性化総合戦略(仮称)WG第6回会議開催

### 平成29年

1月23日 旭川成長戦略ビジョンWG第7回会議開催 ※仮称から変更

3月27日 旭川成長戦略ビジョンWG第8回会議開催

4月24日 旭川成長戦略ビジョンWG第9回会議開催

5月22日 旭川成長戦略ビジョンWG第10回会議開催

6月28日 第4回通常議員総会において発表



